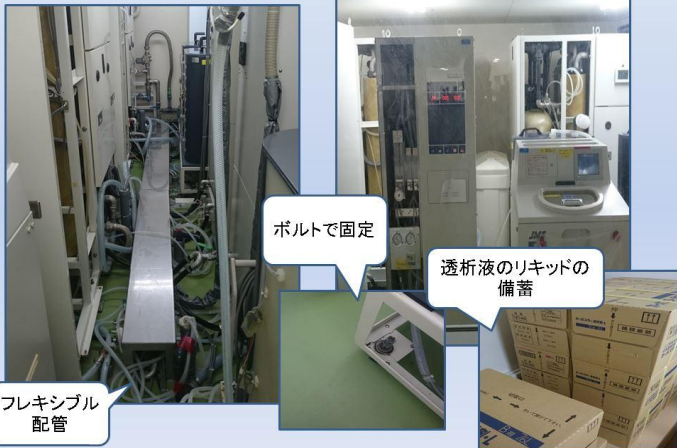


透析だより 平成30年6月号

防災設備



透析室の災害対策

落雷や台風による停電、または地震など避けられない災害に対して患者様に安全な透析を提供するため、当院では災害時透析マニュアルを作成しています。災害時にも適切な対処、避難を行うことができるよう対策を行い、スタッフも勉強会を催して緊急時の対応手順の周知を徹底しています。

透析中に災害が発生し、停電となった場合は、自家発電装置による非常電源に切り替わります。また、複電に時間がかかる場合でも、コンソールに内蔵されたバッテリー駆動により血液ポンプが停止することはありません。

火災などにより透析を中止して緊急離脱が必要なときも、逆止弁付きの留置針を使用しているため、避難した後に抜針・止血処置を行うことができます。

